

— 城のある都市復活 !! —

福岡城だより

2010年7月
NO.26



黒田長政像(福岡市博物館所蔵)

写真提供：北部九州中近世城郭研究会 中村修身氏

常に鴻臚館よ、福岡城よ、平成の世に甦れと、
数多くの年行事、学術的な勉強会や観光市民大
学等巾広く、多くの人々のご協力、ご参画を頂
きながら現在に至っております。本年よりは特
に、公官民財一体となつて甦れ!!の呼びかけに
動き出しました。どうぞ更なるご力添を伏して
お願い申し上げます。

それから七年、年四回の発刊を重ねて参りました。
そして誕生したのが「お城だより」です。

私も平成十四年から参画し、全国の城郭研究、歴史学者、文部科学省・福岡市教育委員会各位の総合会議に出席し、足掛け四年、学術的な立地と将来性を見据えての基本構想が平成十五年三月に完成した。その間、平成十五年六月二十五日、黒田如水公（鼻祖）没四百年の記念大法要に併せて「福岡城」のキャンペーンを全市民にアピールしようとして、桑原敬一会長をして「福岡城四百年記念事業実行委員会」を結成した。その折の結成会員三百人余への会報紙として誕生したのが「お城だより」です。

「福岡城築城四百年」・「鴻臚館発掘作業」を記念して、本格的に、福岡城跡をどのように復元検討していくのか、

よみがえ
甦れ!!福岡城



NPO法人鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会
事務局長　岡部 定一朗

黒田如水長政親子の 戦跡を訪ねて!!

「文禄・慶長の役」 韓国倭城紀行

平成二十二年三月二十六～二十九日

豊臣秀吉は、天下統一が終わるや否や海外遠征を企てます。いわゆる七年間に及ぶ「文禄・慶長の役」の始まりです。文禄元年（一五九二）三月より総勢八軍團（隊）二十万人の大軍が一斉に玄界灘を渡海します。

その時、北部九州の三武将が築き駐屯した、第一軍小西行長一人の順天倭城、第二軍加藤清正二万一千人の西生浦倭城、第三軍黒田長政一万二千人の機張倭城を、北部九州中近世城郭研究会の中村修身会長の案内で、石垣の隅から隅まで見てまわりました。



一方、海上においては、続々と渡海してくる日本軍の大船団を、地元の利を生かし知略と勇猛さにより打ち破つた、朝鮮水軍・李舜臣將軍の



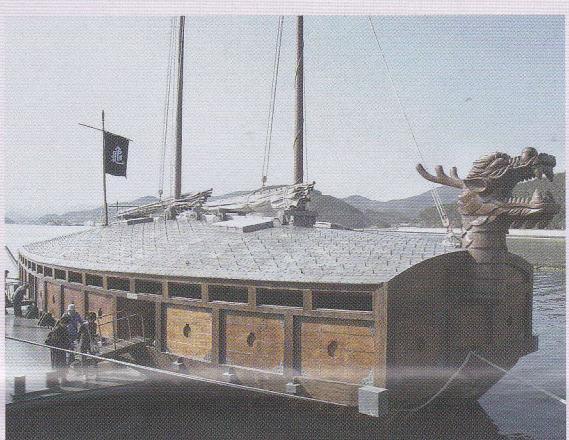
西生浦倭城
(加藤清正築造・駐屯)



順天倭城の天守台をバックに記念撮影
(小西行長築造・駐屯)



- 特に今回の現地探訪で黒田長政について知りえたのは、
- ①難攻不落「普州城の攻防戦」の一番乗りは黒田長政隊であった。
- ②隊長自ら虎刈りをしたのは、黒田長政が最初であつた。それも機張倭城周辺の深山渓谷に入り、虎を捜し出し長政愛用の銃で自ら仕留めた。
- ③有名な蔚山倭城で孤立無縁の加藤清正軍救援作戦の起草者であり、その先鋒をつとめたのは黒田長政であつた。等々です。
- また、関ヶ原の戦いの翌年から、各大名が競つて築城した近世城郭の石垣や築城技術は、この倭城築城の経験から生まれたのではないかと強く感じさせられました。それは現在私どもが見ている国内の城と今回の倭城が余りに良く似ているからです。



福岡城探訪

薄命の藩主

八代治高 九代齊隆

藤
金之助

済の二男で治之の甥にあたる雅之を養子にする。名を斎隆なりなかと改め二月十九日に九代藩主となる。ま
六歳の幼君である。

藩政は重臣たちによつて行われた、この時、幕府は福岡藩が代々武の名譽として守ってきた「長崎警

ら起る。」
という趣旨でビシビシ鍛えてくれと
云うことである。

「藩士の多くが恥を知らず、心得違いをするのは稽古事を怠り、自由に暮らして人の筋道を知らぬことか

福岡藩では七代治之の遺言で学問所設立を考えていたが、七代、八代と後継者問題でそれどころではな

めから病氣（脚氣）となり、六月二十三日、十九歳の若さで死去する。墓は崇福寺にある。



九代 黒田 齊隆 八代 黒田 治高
(福岡市博物館所蔵)

備御番」の役目を他藩に変更しようとした。このことに驚いた家老の久要人に陳情し、これを取りやめ家老による代行を認めさせることに成功した。

斉隆は幼少のため暫くは一橋の屋敷に住んでいたが寛政二年（一七九〇年）に元服、三年後の寛政五年、一七歳になつて初めて福岡入りをした。

齊隆は十一代將軍、家斉の弟であ
り、時の老中、松平定信が田安徳川
家の出で、うござらり、幼い時か

家の出といふこともあり、幼い時からその薰陶を受けていた。当時最高の名門の出であり、賢明な青年君主であつたが、残念ながら生來の虚弱

体質であつた。

郷土の歴史講演会 ふくおかの歴史を 甦れ！福岡城



黒田如水・長政築造 福岡城天守閣と天守曲輪の模型

平成二十二年九月二十日(敬老の日)
受付開始 十二時半より
講演 午後一時～午後四時
場所 読売新聞西部本社一階
「よみうりプラザ」
福岡市中央区赤坂一一六一五
演題

福岡城と一夜城
読売新聞西部本社 池田和正氏
中世の城・韓国倭城・福岡城
北部九州中近世城郭研究会

福岡城本丸模型を見る

筑前城郭研究会作成の模型を自由見学
人員 事前申込み（先着百二十名まで）

參加費

福岡市民の会の会員・無料
一般…三百円

参加申込み

福岡市民の会

TEL 92-1

FAX 092-7108204

卷之三

「名前」と「電話番号」を「漫縄くたわい

NPO 法人 福岡市民の会 第6回総会開かれる

平成 22 年 6 月 8 日開催の第6回通常総会に於いて下記の事項が承認されました。

1. 平成21年度事業報告及び収支決算

【平成21年度事業報告】

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

1 事業の成果

鴻臚館・福岡城を生かした地域活性化とその復元を目指し、イベント開催や研究・啓発事業など下記活動を積極的に実施した。

平成21年11月福岡城復元の為の「福岡城再建整備基金」の設立を福岡市に要望し、第一回の勉強会を本年3月17日に行い、今後福岡城本丸を整備することに賛同して行きたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
イベント開催 観桜の宴	平成21年4月 福岡城跡	15人	市民50人	458		
イベント開催 どんたく演舞台	平成22年3月 福岡城跡	30人	市民700人	322		
イベント開催 観月の宴	5月 福岡城跡	50人	市民6,800人	5,967		
研究・啓発 研究・啓発 歴史学講座	10月 福岡城跡	50人	市民4,000人	4,780		
委託事業 観桜の宴	8回/年 福岡県内	3×8回	市民40×8回	0		
委託事業 研究・啓発 歴史学講座	7月~11月 福岡県内	4×30回	市民100×30回	799		
委託事業 古代官道	8月~3月 福岡県内	30人	市民2,000人	2,964		
委託事業 機関紙発行	0回 事務所	0人	市民2,000人	0		
				3,000部×4回	818	

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出額(千円)
募金活動事業	個人・団体への募金活動	隨時	随时	0人	0

【平成21年度収益事業会計収支計算書】

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで
NPO 法人 鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

科 目	H21年度実績	H22年度計画
I 経常収入の部		
1 会費収入	2,219,000	2,500,000
2 事業収入		
イベント開催事業		
観桜の宴	340,500	100,000
どんたく演舞台	5,794,495	5,800,000
観月の宴	4,657,399	200,000
西日本新聞旅行企画	51,796	200,000
研究・啓発事業		
市民大学	989,000	1,200,000
古代官道	2,964,400	2,500,000
委託販売書籍	35,070	0
3 その他事業会計からの繰入		
経常収入合計	17,051,660	12,600,000
II 経常支出の部		
1 事業費		
イベント開催事業		
観桜の宴	806,771	100,000
どんたく演舞台	5,946,579	5,440,000
観月の宴	4,780,206	200,000
研究・啓発事業		
市民大学	798,735	800,000
古代官道	2,964,400	2,500,000
機関紙(福岡城だより)	818,011	700,000
委託販売書籍	26,208	0
2 管理費	1,402,356	2,260,000
3 予備費		
経常支出合計	17,543,266	12,600,000
III その他資金収入の部		
1 受取利息	1,356	
2 離収入	51,174	
その他資金収入合計	52,530	
当期収支差額	▲439,076	
前期繰越収支差額	3,580,041	3,140,965
次期繰越収支差額	3,140,965	3,140,965

2. 平成22年度事業計画及び収支予算

【平成21年度事業報告】

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

1 事業実施の方針

鴻臚館・福岡城を生かした地域活性化とその復元を目指して、イベント開催や研究・啓発事業を積極的に行う。また、関係諸団体との連携を一層活性化し、鴻臚館・福岡城に対する市民の関心を深め、認識を更に新たにしていく。

そのため、「福岡城再建整備基金」の設立に深く関わり、福岡城本丸をまず整備することに賛同して行きたい。また、本年度のイベント事業の「観月の宴」は従前より規模を縮小して実施する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	受益対象者の範囲及び予定期数	支出見込額(千円)
イベント開催 観桜の宴	3月 福岡城跡	30人	市民200人	100		
イベント開催 どんたく演舞台	5月 福岡城跡	50人	市民15,000人	5,440		
イベント開催 観月の宴	10月 福岡城跡	50人	市民4,000人	200		
研究・啓発 研究・啓発 歴史学講座	8回/年 福岡県内	3×8回	市民40×8回	0		
委託事業 古代官道	6月~11月 福岡県内	4×30回	市民100×30回	800		
委託事業 機関紙発行	8月~3月 事務所	30人	市民2,000人	0		
		4回	市民2,000人	3,000部×4回	700	

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出額(千円)
募金活動事業	個人・団体への募金活動	随时	随时	10人	0

【貸借対照表(特定非営利活動に係る事業会計)】

平成22年3月31日現在

NPO 法人 鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

科 目	借 方	H20 年度	H21 年度
I 資産の部			
1 流動資産			
現金		53,130	36,523
普通預金		1,073,436	671,381
未取金		2,477,475	2,602,000
仮払金		25,000	0
流動資産合計		3,629,041	3,309,904
2 固定資産			
固定資産合計		0	0
資産合計		3,629,041	3,309,904
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金		49,000	82,445
未払金		0	86,494
流动負債合計		49,000	168,939
2 固定負債			
固定負債合計		0	0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,632,380	3,580,041
当期正味財産増減額		947,661	▲439,076
正味財産合計		3,580,041	3,140,965
負債及び正味財産合計		3,629,041	3,309,904

総会報告

NPO 法人 鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

第六回通常総会報告

日時 平成 22 年 6 月 8 日 (火)

14 時 ~ 15 時 30 分

場所 読売新聞西部本社 1 F

よみうりプラザ

審議事項

第一号議案

平成21年度事業報告及び収支決算

並びに監査報告

第二号議案

平成22年度事業計画及び収支予算

第三号議案

福岡城整備基金設立にむけての

活動について

5月28日(金)の決算理事会を経て総会が開催され、無事終了しましたことを会員の皆様にご報告いたします。

また、三号議案につきましては、理事長からの経過報告がなされ、「福岡城跡整備計画に係わる官民共働勉強会」が今年度中に四~五回開催される予定との事でした。今後の経過についてもご報告致します。



編集後記

今年も「どんたく福岡城演舞台」は盛況(約15,000人)で終わり、理事会・総会も無事終了致しました。

休止していましたホームページが少しづつですが動き出しました。

福岡市民の会

検索

でもご覧いただけます。

どんたくや総会の内容等も「活動報告」に掲載しています。「活動内容」を開くとカレンダーに行事や講演の案内もご覧頂けます。又、会の運営に多くの方々のご意見やご要望などを「お問い合わせ」の欄にてお寄せ下さい。皆様のお声と共に前に進んでいきたいと願っています。

一般会員 (団体)	正会員 (個人)	新規会員名簿 (平成22年6月18日現在)
小上 池原 玲昭	神金柿梅井池麻	
中上 子子 千々和野	谷子木野手田生	
中上 島和野	喜富千吉	
中上 島和野	美士代江範子	
中上 島和野	潔中杉酒小黒櫛河	
中上 島和野	村原勾池瀬橋邊	
中上 島和野	洋美	
中上 島和野	三治重	
中上 島和野	子彰一	
中上 島和野	子彰一	
中上 島和野	美重	
中上 島和野	吉柳米平浜前浜	
中上 島和野	村谷田島武田崎	
中上 島和野	精英輝	
中上 島和野	久光	
中上 島和野	美	
中上 島和野	二子子子子風シ	